



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

国際会長主題 「とにかくやろう一成せば成る」
 アジア会長主題 「とにかくやろう一成せば成る」
 西日本区理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
 中部部長主題 「先ず、一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」
 クラブ会長主題 「親睦・自己研鑽・そして奉仕」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2011年11月号

—＜今月の聖句＞—

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働く
 ということ、私たちは知っています。

ローマの信徒への手紙 8 章 28 節

名古屋グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2011年11月例会ご案内

◎第一例会 「合同例会」

と き：11月8日(火)

と ころ：ケンポー

東区東桜町 2-15-27

Tel 052-931-0271

時 間：19:00～

ドライバー：三井君

会 費：4000円

11月第一例会は名古屋プラザクラブとの
 合同例会です。欠席となるメンバーはドライ
 バーに11月5日までにメールにて連絡願
 います。

◎第二例会

と き：11月22日(火)

と ころ：名古屋YMCA

時 間：19:00～

◎EMCシンポジウム

と き：11月12日(土)

と ころ：愛知青年会館

Tel 052-221-6001

時 間：13:30～

◎チャリティーゴルフ大会

と き：11月23日(祝水)

場 所：中部国際ゴルフクラブ

参加費：16000円

参加希望者は11月4日までに東田さん
 まで申し入れてください。

10 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B F ポイント		クラブファンド (10月)	
	在 席 者	16 名	第 1 例 会	13 名	当 月 ・ 切 手		ニコ BOX ノート	
	例会出席者	13 名	第 2 例 会	7 名	当 月 ・ 現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	81.3 %	そ の 他	5 名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う＝

第一例会報告



日 時:2011年10月13日(火)

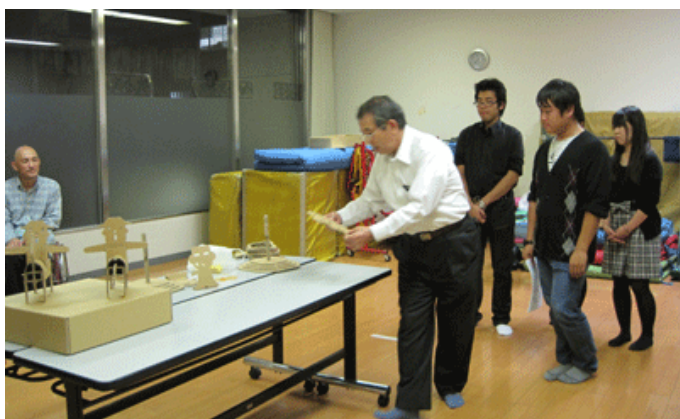
場 所:名古屋YMCA

出席者:服部・荒川・阿部・佐藤・松原・坂野・三井
坂本・早川・下村・高田

ゲスト:リーダー多数

荒川恭次

普通のサラリーマンの仮面を取れば、特異な経歴の持ち主の鈴木さん。とにかく何でも自分で工夫して作ってしまう。これがほんとのゲームの達人なのか。座学の間は何とかなったワイズメンであるが実習時間ともなれば、若い頭の柔軟なリーダー達がいなかったら、さぞかし間が持たなかったことであろう。しかし鈴木さんはもう還暦を過ぎた方。この柔軟な思考回路はどうすれば我々も持つことができるのか。大きな課題を投げかけられた卓話でした。



第二例会報告

日 時:2011年10月27日(火)19:00～

場 所:名古屋YMCA

出席者:服部・坂野・荒川・坂本・高田・下村・三井・早川

議事等

今後のプログラム

- 1) 10月29日(土) ふるさと交流会
場所 愛知牧場
- 2) 10月29日(土) ピープフルバザー
準備 南山 YMCA 19:00集合
- 3) 10月30日(日) バザー
南山 YMCA 8:30集合
- 4) 11月 4日(金) チャリティーラン
準備 名古屋 YMCA 3F 18:00～
- 5) 11月 5日(土) チャリティーラン
名城公園 8:00集合
- 6) 11月 8日(火) 合同例会プラザクラブ)
場 所 ケンボウ 19:00～
- 7) 11月12日(土) EMC シンポジウム
青年会館(伏見) 13:00～16:00
- 8) 11月22日(火) 11月 第二例会
富士登山 報告会
ドライバー 阿部君 (食事有り)
- 9) 12月 3日(土) 12月 第一例会
(クリスマス例会)
- 10) 12月28日(水) 12月第二例会 忘年会
- 11) グランパスタオルの件

ふるさと交流会 in Nissin

日 時:2011年10月29日(土)

場 所:愛知牧場

下村 明子

10月29日土曜日、名古屋YMCA、ワイズメンズクラブ(中部)など地域で活動する各種団体で構成された実行委員会の主催による「ふるさと交流会 In

Nissin」が日進市の愛知牧場で開催されました。震災、津波、原発の被害に遭われた方々を招待しバーベキューや牧場見学を楽しんでいただくプログラムで、日進市とその周辺行政の協力のもと岩手、宮城、福島、茨城、千葉から愛知県に避難された多くのご家族にお越しいただきました。ワイズメンについては在名5クラブのメンバーだけではなく、四日市、津の両クラブからも10名程のメンバーが応援に駆けつけ、にぎやかな会になりました。



開会の集いのあとバーベキューで腹ごしらえをし、午後からは YMCA のリーダーとボランティアの大学生が子どもたちのお世話を引き受けて牧場内を散策、その間子どもたちから解放された大人たちは牧場上の南山教会の集会室に集い、被災された方々同志で交流をしたり、弁護士、司法書士による専門相談を受ける方もおられました。そして閉会の集いでは参加された方々よりいろいろな感想をお聞きすることができました。「同郷の方とお話が出来て気持ちが楽になった。」「震災後怖がって親のそばを離れなかった子どもが今日は喜んでリーダーと遊ぶと言った。」「子どもたちを預かってくれたことで久しぶりに解放された。」「このような機会を与えてくれたことに感謝。」「本当にありがとうございました。」などなど。



最後に子どもたちを中心に参加者全員がピアノに合わせて歌い踊りました。楽しそうに無邪気に歌っている子どもたちの姿を目の当たりにしながら私は

思いました。「原発のもたらした恐ろしさや生まれ故郷に戻れない可能性など、ひょっとしたらこの子どもたちは何も知らないまま、疑わぬままにここへ来ているのかもしれない。今は笑顔の子どもたちも、これから成長してその現実を知った時、どんなに悲しい顔をするのだろう・・・。」私は涙をこらえながら子どもたちの歌う姿を見つめていました。短いひとときでしたが、日頃メディアでは伝わって来ない様々な出来事が、この交流会に参加したことで直接伝わってきたように思いました。



ク ラ ブ 交 流

日 時:2011年 10 月 23 日(日)

場 所:京都嵐山

出席者:荒川、坂倉+メネ+コメ、松原+メネ



京都東稜クラブ嵐山散策と保津川下り

坂倉 洋

10月23日(日)、京都東稜クラブからお誘いがあり、嵐山散策と保津川下りのプログラムに参加しました。グランパスからの参加者は、荒川メン・松原メン・メネットと私と私のメネット・コメット(二男)の6名となりました。



当日朝、名古屋は暖かく晴れ渡り渋滞もなく京都の集合場所嵐山のトロッコ嵯峨駅前に到着。東稜クラブのメンバーと再会を喜びました。嵐山を散策後、トロッコ列車で保津川の景色を上から楽しみながら終点のトロッコ亀岡駅へ。亀岡駅前にて昼食後、



いよいよ保津川下りです。亀岡駅から真っ盛りのコスモス畑を通り乗船場へ。保津川下りは、今は観光の為の運航だけですが400年続いているそうです。紅葉にはまだ少し早い季節でしたが川から見上げる溪谷の山々は心を癒してくれ、また岩場の急流では川下りを楽しませてくれます。1時間半ほどで嵐山の渡月橋に到着し川下りは終了です。嵐山を歩くとビックリするほど観光客でいっぱいです。トロッコ嵯峨駅前で解散となり楽しいプログラムの終了となりました。



私自身、退院後ほとんど初めての遠出となり家族

はもとより荒川さん松原さん東稜クラブの皆さんにご心配・暖かいお気づかいをいただき心より感謝申し上げます。無事、名古屋に帰って来ることができました。

ピースフルサンデー

日 時:2011年 10 月 30 日(日)

場 所:南山YMCA

出席者:早川、服部+メネ

早川政人

10月30日日曜日ピースフル・バザーの前日に南山YMCAで三井・坂野・早川で準備をしました。今年は景品をYMCAで用意をしていただき、大変助かりました。準備はゲームの設置丈なので、短時間に終了しました。バザー当日は天候がおもわしくなく空模様が気になりましたが?・・・。



毎年朝早くから行列ができ期待されています。我々グランパスクラブは例年通りトイレットペーパー倒しです。隣のゲームは南山クラブが射的をしています。景品は共通で使い例年と違い大変楽に出来ました。



対象は幼児から小学低学年ぐらいです。景品の種類は大変多く、選ぶのに時間がかかりますが楽しそうです。宝箱から選ぶ様でなかなか決まらずに両親に催促され、見ていると興味深い面白い光景でした。

又屋外では色々なブースが有りに賑やかで、美味しいような良い匂いが流れていました。毎年人気の食べ物は早く売り切れてしまいなかなか食べる機会がありません。今年は特に服部会長・智子メネットと3人なので大忙しで食事もとれず大変でした。雨も終盤に降り出し、午後2時頃に終了しました。

ジープ Safari & ジェングルトレッキング

吉田一誠

ハウスボートを後にして向かった先はペリアーワイルドライフ保護区というところ。ハウスボートの発着港のあるアルフィーというところから150キロ位ですが、標高が9百メートル位のところ迄山道を登る為に車で5時間近くかかりました。チカディという保護区の入り口にある町に到着、この町はもちろん公園のことも「地球の歩き方」にものっていない所なので何も知識がないので、とりあえずホテルにチェックインし現地の人の話を聞きながら三日間の滞在中の予定をたてました。そのうちの一つがジープSafariとジェングルトレッキングです。

早朝五時にドア無し、天井無しのまさに戦争映画で見るジープがホテルに迎えに到着、ジープSafariの看板に偽り無し！若くてハンサムなお兄さんがおりてきて乗れという指図、何の説明もなくいきなり走りだしました。彼がひたすらハンドルと格闘するのをみると声をかけるのはばかられ、他に乗客はいないので何も聞くことも出来ず、ただただ振り落とされない様に車にしがみついているしかなく、いささか心細い思いのスタートでした。



暗闇の中、凸凹道を跳ね飛びながら走るこゝろ一時間、夜がしらじらとあける頃に保護区の入り口に到着、登録の為に停車、ここで始めて、Teaがあるから欲しいなら飲めと、彼が口を聞いてくれました。入り口の脇には掘建て小屋の売店があり、おじさんが見事な手捌きでチャイ(コーヒーとミルクいわばカフェラテ)を作っていて、傍では娘さんがチャパティを焼いていました。甘い香りに誘われ早速賞味、美味かった。値段は両方とも十円位でした。

公園の入り口で集まった数台のジープが連なって林道の様な道をさらに上りつつ行くこと五分位、前の車から人がおりて山の尾根筋を見上げて叫んだのを合図に皆も車からおりて、尾根筋を見上げると鹿が三匹草むらの中をかき分けながら進んでいるのが見えました。これがジェングルのSafariドライブの始まりだったようです。その後、バイソン、ラングーン、ジャイアントクルエル(体長一メートル近い大型のリス)等が見えましたが、いづれも高い尾根筋にいたり、茂ったジェングルの中を飛び跳ねていたりして、写真やビデオなど取る暇もなく、もちろん撮影できる腕もなく、これがジェングルのSafariドライブなのだとして改めてアフリカのサバンナとの違いが分かりました。(あとで気がついたこと。アフリカは去年乾期の前、木々の緑がほとんど一部にしかない時に行きましたが、インドは今の時期雨季が終わったばかりで木が生い茂っていました。乾期の終わりにはこれがほとんど枯れ木になるとのことです、地域の違いではなく季節の違いによる差が大きいです)

かれこれ二時間あまり走り回り、たいした動物も見られず、退屈していた頃に、保護区のキャンプ地の様なところに到着、ダム湖の傍らに茅葺きの屋根の下にイスとテーブルがあり、あちこちから集まって来た人達と一緒にビュッフェ式の朝食を食べました。この日は二十人位、こども連れの家族、若い人のグループ、カップル、ビジネスマン風のオジさんグループなど様々でしたが、半分以上は地元のインドの人達でした。



ここで始めて今日のプログラムを書いた紙が渡され、朝食後はトレッキング、ランチ、午後はボートでの湖畔巡り、スパイスプランテーションの見学等があり、Tea Timeの後解散という事が分かりました。集まった人が子供や女性など足並みが揃わないため、朝食のあと体力に応じた？Group分けがされました。わたしは一人だったせいか、フランスからトレッキングを目的に来たという三人の若者のGroupに振り分けられました。聞けば三時間あまりジェングルを歩き回るとか！大丈夫かと聞かれましたが、成せばなる？覚悟を決め、出発。

此の保護区には九百頭の象、四十八頭の虎、五十

頭のヒョウなどがいると説明がありましたが、何しろ保護区の広さが九百九十万平方キロ(900km 四方以上)という事なのでまず巡り会う事など奇跡的にしかあり得ないと思われました。

鉄ハシゴをおりて ダムの堰堤の上を歩いて向こう岸に渡るというのっけから少しやばい感じのスタートで、ジャングルに分け入り獣道の様なところを進み、沢を渡り、尾根に登る等なかなか変化にとんだコースを歩き回りました。歩き始めた時間が朝の九時すぎでしたので予想どおり残念ながら動物に遭遇するということは出来ませんでした。それでもまだ見た目も新しく、匂いもきつい象の糞、食べる為になぎ倒された竹の跡、トラの足跡や木につけた爪跡などを見るとやはり本当にいるのだという事が実感できました。尤も本当に遭遇などしていたら今頃どうなっていたのかわかりませんか？

ジャングルを歩き回ったという実感がしたのは足もとにまとわりつくおびただしい量の山ヒルです。出発前にズボンの裾を靴下の中にいれその上に履く様にと袋が渡され、此の上に靴を履く様にと言われました。てっきり毒蛇対策なのかと思いましたが、実は山ヒルの予防だったのです。途中何度もガイドさんの持ってきた荒塩ですり落としたのですがそれでも歩き終わって靴を脱ぐと靴の中にも袋にも踏み潰された山ヒルが沢山残っていました。三時間あまりのジャングルの中のトレッキングは正直かなりキツイものでしたが、日頃のトレーニングやカートを引いてのゴルフのお陰かフランスからの若者に遅れをとる事もなく、汗ダクの完走、終わったあとの爽快感は格別でした。これなら今年もスキーに行けそう！



ランチの後は皆疲れて居眠りする中をガイドに起こされ、駆り立てられて向かったところが山の山頂、これが一番きつかった。(頂上でガイドととったのが添付の写真)山頂で地形の成り立ちなどの説明を聞き、胡椒など栽培されている香辛料の樹木を見ながらのウォーキング、ともあれ、動物とは巡り会えないものの、自然を満喫出来た一日でした。

プログラムを終了、再び飛び跳ねながらのジープドライブで帰路につきましたが、何と右の上腕に血を吸って丸くなった山ヒルを発見！長くなるので此の顛末は何時かまた。

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday

坂倉加代子 (4 日)

服部 庄三 (7 日)

坂口 功祐 (1 6 日)

congratulation!

2. 西日本区強調月間

1 1 月度強調月間 Public Relations Wellness

ワイズデーはワイズ広報デー、ワイズデーでの催しや事業を積極的に外部に広報しましょう。できればワイズ以外の方も参加できるイベントを企画しましょう

辻野 啓一 広報事業主任(奈良)

3. 例会等出席状況

No.	氏 名	10 ／ 11 第 一 例 会	10 ／ 25 第 二 例 会	10 ／ 23 嵐 山 交 流	10 ／ 29 故 郷 交 流 会	10 ／ 30 南 山 バ ザ ー
1	阿部 一雄	○	○			
2	荒川 恭次	○	○	○		
3	石原 邦利					
4	坂倉 洋			○		
5	坂口 功祐					
6	佐藤 壽晃	○				
7	信田伊知郎					
8	下村 明子	○	○		○	
9	高田 士嗣	○				
10	坂本 清則	○	○		○	○
11	服部 庄三	○	○			○
12	早川 政人	○	○			○
13	坂野 清治	○	○			
14	松原 誠	○		○		
15	三井 秀和	○				
16	吉田 一誠	M				
17						
	計	12	7	3	2	3